

平成27年度 経営情報学科卒業論文発表会

1. 発表日時 : 平成28年2月9日(火) 9:00~16:05、10日(水) 9:30~11:45

2. 発表会場 : 2455 講義室

3. 発表会プログラム

(1) 学科長挨拶

(2) 9日(火)の発表

予定時刻(研究室名)	発表者	発表題目
9:10-9:40(佐々木)	上中田耕大 廣近政俊 吉村直	Kinect を用いたスポーツ基本動作練習システムの研究 手札の強さを数値化した大貧民プログラムの研究 複数戦略を考慮した麻雀プログラムの研究
9:45-10:05(重丸)	金原亮 横井陽並	入力部に影響を与える外乱を考慮したマルチエージェントシステムの合意制御則に関する研究 デッドゾーン構造を考慮した非線形システムの制御則設計に関する研究
10:10-10:40(重安)	足立梨恵 國安哲郎 山崎加菜	メッセージ伝達の信頼性向上とトラフィック増加の抑制の双方を実現する被災情報収集システムに関する研究 指向性受信方式を利用した高速 MAC Level 2hop ブロードキャストプロトコルに関する研究 被災時のすれ違い通信による情報収集を想定した通行情報の共有に関する研究
10:45-11:15(肖)	寺本奈央 服部美南 松野佑美	適応周波数分析による時系列予測 可変ステップサイズを有する LMS アルゴリズムによる適応周波数分析と統計特性 ニューラルネットワークと骨導音を用いた気導音の復元
11:20-11:40(竹本)	原田遼大 藤原晃平	離散特性における割合ヒストグラムの自動描画に関する一考察 分散の系列データにおける状態変化軌跡の抽出方法に関する一考察
11:45-12:15(陳)	才野愛美 村木貴成 森山智世	長距離広帯域ネットワークにおける TCP 帯域利用率及びフロー間公平性に関する研究 Linux カーネルを利用したネットワークエミュレータの開発と性能評価 高速無線 LAN における選択的再送に基づくマルチキャスト方式
★ 昼休憩 12:15~13:10		
13:10-13:40(富田)	神田真由子 滝尻生吹 塚迫奈津美	平和宣言に関する経時テキストデータの分析 時間変化を伴うハザード比の推測法の開発と HDD 故障時間データへの適用 空間カウントデータに対する空間変化係数の推測
13:45-14:15(錦織)	宮川恒平 柴田祥嗣 津村優希	四国4県38都市の施設配置に関する研究 土地価格を考慮した四国4県34都市のための中型・大型自動車による施設配置に関する研究 数理システムによるスケジューリングとホームページ公開に関する研究
14:20-14:40(韓)	安井誠良 陳嘉穎	外乱を考慮したファジィ制御器及び観測器の設計における分離特性 多項式ファジィモデルを用いる制御状態と外乱オブザーバおよび制御器の設計
14:45-15:05(広谷)	石山果奈 佐々木理人	複数回サービスを伴う二種類の作業に対する作業切り替え方針 オプション付き製品に対する供給途絶下での在庫管理戦略
15:10-15:40(生田)	畠山友里 高橋恵太 上直緒	非線形観測システムに対するアンサンブルフィルタの拡張と音環境への適用 エネルギー変量に整合したファジィ・バイズフィルタによる状態推定 特性関数法に基づく音環境システムの評価に整合した回帰分析と出力予測
15:45-16:05(市村)	藤井哲崇 藤藁陵平	忘却効果による Restricted Boltzmann Machine の構造学習法 Twitter から抽出した観光情報における感情指向型インターフェースの活用

(3) 10日(水)の発表

予定時刻(研究室名)	発表者	発表題目
9:30-9:50(呉)	江口文菜 中山知美	不確定な大規模動的システムの分散適応ロバスト出力フィードバック追従則に関する研究 多数個のむだ時間をもつ河川水質管理システムの適応ロバスト制御に関する研究
9:55-10:25(宇野)	梅谷敦志 向井ひとみ 山岡由季	プレゼンテーション型授業支援システムにおける描画情報の保存・再生機能の開発 学内における学生交流の活性化のためのコミュニケーション支援システムの開発 ARを用いたPC分解と組み立てのための自主学習支援アプリケーションの開発
10:30-11:00(岡村)	牛本有梨沙 大野駿 小島大周	放送業界の成長性分析—フジ・メディア・ホールディングスを事例として— 住友不動産の効率性分析 変革期にあるドラッグストア業界—ココカラファインの収益性分析—
11:05-11:45(小川)	野口優子 足立奈央 濱本健太 片場千明	ラーニングコモンズ利用予約システムの PHP を用いた機能強化 会議等の学内業務におけるスケジュール調整を支援するシステムの開発 環境電磁波の簡易計測ツールの開発 ARCS モデルに基づく情報セキュリティ教材の設計と開発

※ 発表時間は、講演7分質疑応答3分とする。

■ 発表者は8時55分までに会場に集合しておくこと。